

令和2年度スタート！ 合同計画学校訪問

今年度の年度当初学校訪問は、新型コロナウイルス感染防止対策のために実施できませんでしたが、5月下旬より合同計画学校訪問(悪石島小・中, 照島小, 吹上中, 花田小, 湯田小, 平島小・中, 市来小)を実施しています。

今回の訪問で、各学校のランドデザインを基に、確かな学力の定着や生徒指導の充実、健やかな心身を育む保健・体育指導等、児童生徒の実態や地域の特色を生かした教育活動が積極的に展開されていることを感じることができました。

本地区の子供たちが将来の夢を描きつつ、目標実現に向けた能力を身に付け、発揮できる姿が期待できる学校訪問でした。

〔日置市立湯田小学校〕



「学びの組織活性化」推進プロジェクト

各学校の組織的かつ総合的な学力向上に向けた取組の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を充実させるために「『主体的・対話的で深い学び』の実現による学力向上プログラム」が3年目を迎えました。その学力向上プログラムの重要な柱の一つとして、学校の「学びの組織活性化」推進プロジェクトが位置づけられています。本プロジェクトでは、教育事務所単位の実践校、市村単位のモデル校として中学校を指定し、校内研修を通して、学校の学力向上推進体制の整備を図ったり、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した研究授業・授業研究を行ったりしています。

今年度は、実践校としていちき串木野市立生冠中学校、モデル校として日置市立吹上中学校、いちき串木野市立串木野中学校、三島村立三島竹島学園、十島村立小宝島中学校を指定し、研究を深めているところです。



〔十島村立小宝島中学校の研修の様子〕

コアティーチャー ネットワークプロジェクト

今年度も「『主体的・対話的で深い学び』の実現による学力向上プログラム」に基づき、コアティーチャーネットワークプロジェクト部会を開催します。この会は、地区内の先生方と管内指導主事でチームを編成し、モデル授業の構築等に取り組むことで、より質の高い指導力を身に付けることをねらいとしています。

今年度は、管内の小学校14人、中学校14人の先生方を委嘱し国語、算数・数学、外国語活動・外国語科のモデル授業づくりに取り組んでいきます。秋にはオープンサポートで公開する予定です。



〔昨年度の部会の様子〕

フレッシュ研修

今年度、日置地区には、小学校に12人、中学校に6人、計18人が新規採用教員として赴任しています。

6月3日(水)日置市中央公民館を会場に教科指導の研究授業研修を実施しました。先輩教員による授業を収録したDVDの視聴を通じた授業研究を行ったり、普段の学習指導や学級経営について課題に感じていることについての解決策について話し合ったりする活動を通して、新任教員としての資質向上を図り、実践意欲を高めました。

今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮した形で他校種参観研修、道徳の研究授業業研修、特別活動の研究授業研修を実施していく予定です。



人権教育総合推進地域事業

日置市が平成30年度から文部科学省の研究指定を受け、日吉地域で3年間取り組んできた「人権教育総合推進地域事業」の総括として、6月25日(木)に日吉小で、26日(金)に日吉中で研究授業が行われました。

当初、研究公開の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、校内のみの研究授業を行いました。日吉小は4年学級と特別支援学級が日吉中は2年学級がそれぞれ、総合的な学習や道徳科の授業を通して、人権について学ぶことができました。授業も大変工夫されており、子供たちも積極的に意見を述べるなど、深まりのある人権教育の学習となりました。

今後は、研究の成果を冊子にまとめた後、管内小中学校等に配布を予定しているとのことです。各学校においても、研究成果が人権教育の実践に生かされることを強く期待しています。



〔授業の様子〕

日置地区小・中学校道徳教育研修会

6月26日(金)、日置市立上市来小学校、上市来中学校において、地区小・中学校道徳教育研修会を開催しました。(教職員参加者37人)

「豊かなかかわりを通して、よりよく生きる力を高める道徳教育の在り方」という研究主題を基に、両校とも特定の価値を押し付けるのではなく、子供一人一人が考え、議論することで多様な考え方や感じ方に接し、よりよい生き方を志向していく道徳の授業が展開されており、大変有意義な研修会となりました。今後も各学校において、道徳教育の充実をお願いします。



〔小学校での授業の様子〕



〔中学校での全体会の様子〕

日置地区PTA正副会長等研修会

7月4日(土)、いちき串木野市いちきアクアホールにおいて、地区内の小中学校・高校・特別支援学校PTA正副会長等役員の方々や教職員計71名の参加の中、研修会が開催されました。

講師の高崎恵さん(オフィスピュア/ワークショップデザイナー)は、「男女共同参画社会の形成の促進について」を演題に、ワークショップの手法を取り入れながら、男女共同参画の意味や同調圧力、自己肯定感等、様々な切り口で、広く人権教育や家庭教育の重要性について話されました。

講演後、参加者からは、「勇気をもった」「子供たちと向き合い、一緒に考えていきたい」など前向きな感想が多く聞かれました。今後のPTA活動に期待しています。



〔講義の様子〕

日置地区養護教諭等研修会

6月17日(水)、日置市中央公民館において、日置地区養護教諭等研修会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策において、児童生徒がこれまでに経験をしたことのない日常生活や学校生活を送ることによる悩みや不安を抱えている児童生徒に対して、具体的なカウンセリングの技法や進め方についての講話がありました。

全ての子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう支援体制を整え、積極的な対応が図られることを願います。



〔講義の様子〕

結果は数値で表せるが、結果に対する人の思いは数値で測れないことが多い。「成功〓満足、失敗〓不満足」とは限らないし、失敗したけど楽しかった経験をすることも多い。そこに至るまでの過程や経験によって、その成果は白か黒だけでなく、他人には説明できない濃淡の灰色ということもある。

とはいえ、やはり「楽」は魅力的だ。それがゆえ、多種多様な研究者や成功者たちが経験論を否定し、その「成功」の法則や効率よく目標に到達できる術を示す。彼らのように合理的に成果を得られると良いのだが、。

先日、テーブルの上には「偏差値〇からの大逆転!」という帯のついた新品の問題集があった。近くにはあたかも目標を既に達成したかのようにテレビを見て息子がいた。

涼風

理想と現実

鹿児島教育事務所 所長 徳留 敏郎

先月、息子が問題集を買ってきた。彼は、「たった十日間で完全マスター!合格の秘訣はコレ!」という帯がついた冊子を見せながら、ようやく出たやる気のアピールしていた。望ましいとされる目標や結果に短期間で効率よく到達できると越したことはないし、そうありたいと多くの人が願う。

昔、私はあるロールプレイングゲームに熱中した。ある作品では思うようにゲームが進まず、ゲームオーバーとコンティニューを何度も繰り返して、数週間かけてようやくエンディングに辿り着いた。その時、涙ながらに聞いた音楽は数十年経った今聞いても鳥肌が立つ。一方、別の作品では攻略本を使って一晩で終わらせたこともあった。その時は達成感を感じたとは思ってよく覚えていない。